

森林と大地と人が輝くまち

しもかわ

令和6年 No.204

議会だより

5



表紙の写真 ピカピカの1年生が在校生と一緒に入場します
(令和6年4月5日 下川小学校入学式)

p2~ 3月定例会議

p6~ 令和6年度予算審査

p10~ 一般質問

p13~ 1月・2月臨時会議

p15~ 議員とフリートーク

3月定例会議 3/6~15

3月定例会議のあらまし

3月定例会議は、3月6日から15日までの10日間開催しました。

町長による町政執行方針演説、教育長による教育行政執行方針演説に引き続き、町から、新規条例、条例改正、補正予算、新年度予算などが提案され、各種条例や新年度予算審査に係る経過と結果について、各委員会から報告があり、採決の結果全て原案可決しました。議会からは、下川町議会脱炭素推進調査特別委員会の結果報告を行いました。

一般質問では、5人の議員が町長に考えを問いました。

令和6年度各種会計予算 予算の使い道が決まりました

一般会計予算

56億1,400万円【対前年度比6.0%増】

介護保険特別会計

7億9,725万円【対前年度比6.1%減】

国民健康保険事業特別会計

4億9,095万円【対前年度比0.3%増】

後期高齢者医療特別会計

7,164万円【対前年度比8.9%増】

下水道事業会計

5億2,574万6千円【特別会計から企業会計移行】

簡易水道事業会計

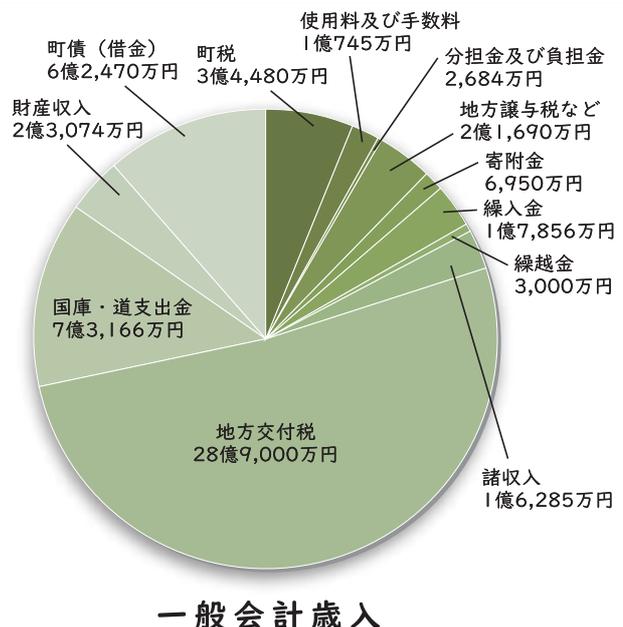
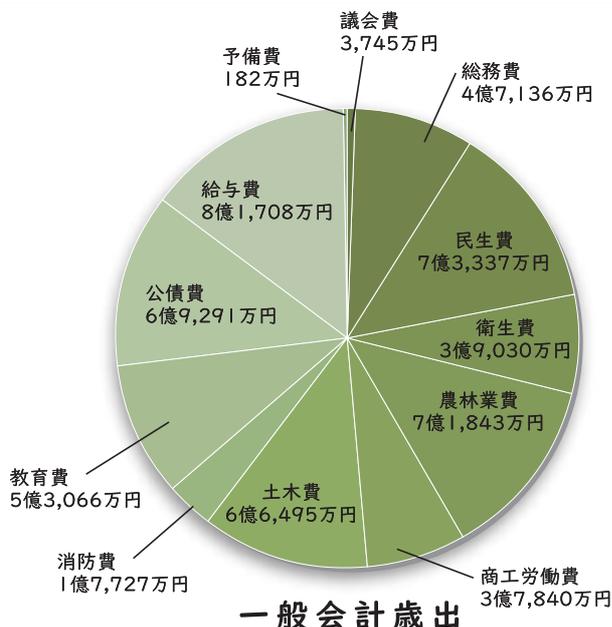
4億7,647万3千円【特別会計から企業会計移行】

病院事業会計

6億466万2千円【対前年度比4.0%減】

総額

85億8,072万1千円【対前年度比7.0%減】



予算の主な使われ方

主要事務事業の概要

スマホ役場構築事業

町のLINE公式アカウントをリニューアルし、24時間365日、スマートフォンなどから行政手続きが可能となる事業です。

ICT活用除雪システム構築事業

除排雪車両に設置するスマートフォンのGPS機能を用いて、除雪作業車両の位置の把握と走行場所の管理をし、自動で運行日誌の作成や予算の執行状況の管理をリアルタイムで行い、業務の効率化につなげるほか、除排雪車両の位置情報を一般公開するシステムです。

医療給付事業

重度心身障害者・ひとり親家庭等・乳幼児などへの医療費支援を行う事業で、これまで中学生までの医療費一部負担を助成していましたが、対象者を高校生まで拡大することになりました。

奨学金返還支援事業

移住や定住の促進、教育費の負担軽減などのため、Uターン者等に対して奨学金返還に係る費用を支援する事業です（令和6年4月以降に町内企業などへ就職し、2年経過後から5年間の支援を行います）。

民間賃貸住宅建設等促進事業

町内の住宅不足の解消と定住人口の確保などを目的に民間活力を活かした賃貸住宅の供給を促進するため、民間賃貸住宅の建設に係る経費を支援する事業です（1棟4戸以上、1㎡当たり7万円（500㎡）※補助金上限3,500万円）。

農業振興事業

フルーツトマトの半養液栽培に係る資材のほか、IOT技術を取り入れたスマート農業を推進するため、施設園芸に設置する環境制御装置などの導入経費やホワイトアスパラ栽培資材費への支援を行う事業です。

地域情報格差解消事業

令和6年度をもって行政告知端末の運用廃止に伴い、町から電子的な情報を受け取ることができなくなるおそれのある世帯に対し、情報格差が生じないようにタブレットなどの契約に係る通信料等の支援を行う事業です。

簡易水道事業全体計画策定事業

安全安心な水道水を確保するため、老朽化した水道施設の更新や改修に必要な施設整備計画を策定するものです。

林業・林産業振興事業

高性能林業機械や木材加工流通施設の整備、新商品開発、販路開拓を行う事業者に対し、支援を行う事業です。

中小企業振興事業

経営基盤強化、起業化促進、事業承継などを行う事業者に対し、支援を行う事業です。

令和6年度各種会計予算については、予算審査特別委員会へ付託され、3月8日・11日・12日・13日の4日間で審査を行いました。

予算審査の冒頭では、副町長より、「令和6年度の予算は、田村町政となって初めての当初予算編成であり、社会環境の変化や多様化するニーズを的確に把握し、迅速かつ柔軟に対応するとともに人口減少、少子高齢化、人材・担い手不足、財政問題、公共インフラの老朽化など、地域が抱える課題解決や積極的な情報公開と町民の理解を念頭に、第6期総合計画に掲げる2030年における下川町のありたい姿の実現と財政運営基準である基礎的財政収支（プライマリーバランス）の黒字化を目指し、第6期総合計画の着実な推進、第9次行政改革大綱に基づく効率的で効果的な行財政運営の推進などを基本方針として、予算編成を行ってきている。

予算執行に当たっては、各種補助金などの財源確保に努め、最終的な基金繰入金は可能な限り抑制するよう努力し、最小の経費で最大の効果があげられるよう各種の施策や事業を進めて行きたい」との説明がありました。

その後、所管課ごとに推進施策、事業概要などの説明を受けながら審査を行い、3月13日には理事者に対し総括質疑を行いました。

（予算審査特別委員会の内容については6～7ページに掲載しています）。



条例などの審査に注力している委員長と副委員長

総務産業常任委員会 条例等審査

委員会審査：3月6日・7日

委員長：小原 仁興 議員

副委員長：中田豪之助 議員

4ページから5ページにかけて、3月定例会議において総務産業常任委員会に付託された新規条例や条例の一部改正など、主な委員会審査での質疑や意見などについて掲載します。

◆下川町民間賃貸住宅建設促進条例

町内の住宅不足の解消と定住人口の確保、住宅性能の向上による環境負荷の低減などを目的に新規条例として提案したものです。

質問 以前も民間賃貸住宅建設に対する補助があったのでは。

答 入居者の需要増加により、民間賃貸住宅が少ないことから、その需要に応えるため新規条例として提案した。

質問 入居者は、どのような人を想定しているのか。

答 中所得者層を想定しており、町営住宅と民間住宅で家賃の格

差が生じないように、住宅建築者と協議をしていきたい。

意見 この条例の本旨に見合う家賃設定と入居需要を解決するために参画する事業者は、積極的にこの制度を活用されることを期待する。

◆下川町林業振興基本条例の一部を改正する条例

林業・林産業のさらなる発展と事業者の経営安定などを図ることを目的に、林業・林産業振興事業の免許資格取得の追加と施設、機械、設備の整備に対する支援事業を1年間延長するものです。

質問 1年間の時限を設けて条例改正を行うのはなぜか。

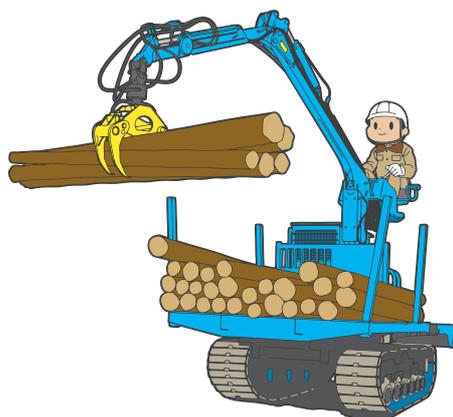
答 この事業を1年間延長継続した後は、今後、策定予定の（仮称）産業振興条例に引き継ぐ予定となっている。

質問 免許などの資格取得に対

する支援について、積極的ではないような感じであったが、考え方を変えたのか。

答 個人の免許などの資格取得まで補助を拡充することで、地域産業に定着するものと判断した。

意見 地域産業の経済活動が維持できるように、有効な施策となるよう進めていただきたい。



◆下川町快適住環境促進条例の一部を改正する条例

補助事業が令和5年度末をもって時限を迎えることから、地



条例の改正内容を説明する建設水道課

域社会の変化などを踏まえ、新築住宅や新築建売住宅の取得、住宅を改修する場合に規定する住宅性能や環境負荷低減が満たされる住宅に対して、補助率と加算額などを設け、令和9年度末まで、時限を4年間延長するものです。

質問 住宅改修補助の実績が多いところ、補助額が減額されているのはなぜか。

答 省エネ改修に対象を絞ったため補助額を下げたが、一方で太陽光パネル設置などの補助率は手厚くしている。

質問 規定した住宅性能基準の北方型2020は、施工のハードルが高くないのか。

答 現在の高気密住宅であればクリアできるレベルである。

意見 予算の限度額をもって、その年度の事業は終了となることから、情報周知に偏りのない多様な周知方法を、工夫しながら実施してほしい。

◆第6期下川町総合計画基本構想及び中期計画について

この度の見直しは、総合的な移住・定住施策により、持続可能な地域社会実現のため、基本構想に具体的な人口目標を定めるとともに、令和5年度から令和8年度までの中期計画を策定するものです。

質問 生産年齢人口は、15歳から64歳という定義であるが、これから活躍できる元気な高齢世代も勘案すべきでは。

答 総合計画策定に向けたアンケートでは、下川は住みよいと答える高齢世代の割合が多く、人口動態分布も0歳から9歳、20歳から40歳は増加傾向である。逆に70歳代は転出傾向にあるが、このことから高齢者対策は必要で、健康寿命を延ばす事が大切だと考える。

質問 生産年齢人口が50パーセントまで減少すると、自治体としての機能は維持できないのではないかと。

答 50パーセントを切っている自治体は結構あるので、自治体の存続は大丈夫であると考えますが、福祉・医療施設関係やそれらの分野での人材確保と維持が困難になってくると思う。

意見 人口目標を明確に設定したことは、評価できる。目標の



総合計画の人口目標などを説明する総務企画課

実現や人口減少緩和のために、これからの頑張りに期待したい。

委員会意見 「持続可能な地域社会実現のためには、その目標にいかにして近づけられるかが重要であり、実効性のある事業や施策が人口減少の緩和に繋がるよう尽力していただきたい」と当委員会として意見を付しました。



担当課からの説明をうけ、
委員会を運営する委員長と副委員長

予算審査特別委員会 令和6年度予算審査

委員会審査：3月8日、11日、12、13日

委員長：中田豪之助 議員

副委員長：奥崎裕子 議員

令和6年度各種会計などの予算の審査を行いました。質疑や委員間討議を行い、各種会計予算は、委員会として原案可決すべきものと決定しました。

この議会日よりでは、3月定例会議で委員会報告をした内容の一部を掲載します。

◆予算の概要

歳入・歳出総額は、56億1,400万円（対前年度当初予算比で3億1,700万円、6.0%増）を計上しています。前年度当初予算は統一地方選挙のため骨格予算としての編成であったことから、前年度の6月補正後予算56億2,416万円と比較すると0.2%の減少となっています。歳入は町税で3億4,480万円（0.5%増）、地方交付税で28億9,000万円（1.0%増）、国及び道支出金で、7億3,166万円（7.4%増）、基金繰入金は、財政調整積立基金、ふるさとづくり基金、木質バイオマス削減効果活用基金から、1億7,856万円を計上し、町債は、

6億2,470万円を計上しています。



予算内容を説明する保健福祉課

◆委員会審査

所管課ごとに推進施策、事業概要などの説明を受け審査を行い、最終日の13日には町長、副町長、教育長ら理事者の出席を求め、総括質疑を行いました。

質問 ICT活用除雪システムを導入して町民にどのようなメリットがあるのか。

答 GPSスマートフォンを除雪車両に設置するので、大雪や経路変更などで除雪が遅れている場合でも確認が容易となる。町道、町道以外などの走行区分が把握でき、日報などの作業事務の軽減が図られる。除雪費の執行状況も把握できる。

質問 流雪溝への投雪は町民の負担が大きくなっている。長寿命化、廃止など将来の展望は。

答 国、道とも情報交換はしている。将来のあり方を検討する必要がある。

意見

①奨学金返還支援事業は、令和6年4月1日以降の就職者に限らず、既に働いていて奨学金を返還している方も対象にできないか。

②高校生までの医療費が助成となったが、ハピネス健診については、18歳以上である。18歳以下の方でも就職している方、進学していない方もいるので対象を広げることが検討してもらいたい。

◆理事者総括質疑

指定管理料

答 基本協定、年度協定及び仕様書に基づいている。燃料は11月時点での価格、人件費は10月の最低賃金改定に基づき、町で設定した仕様を基準とし、業者に委託した場合を考慮し決定する。令和6年度は最終年で、更新の時期を迎える。町民へのサービス向上と経費節減の両立を図りつつ、町にも監督責任があるので適正な管理をしているか判断する。必要であれば利用者

の声も聴いていきたい。

人材確保

答 募集しても正職員も会計年度任用職員も応募がなく、有資格者は特に厳しいので、人手不足でとりあえず就職だけでもというケースには問題も多い。他の自治体で、衣・食・住セットで用意している例もある。下川町単独ではなく広域の自治体で連携しての求人も視野に入れたい。

意見

担当課だけの対応では厳しい、町長自ら先頭に立って各方面を回って募集を行ってはどうか。

行政告知端末とスマホ役場

答 現在の行政告知端末は令和元年から、設備の保守が限界との情報を受け、設備更新には、当時の経費積算3億円の費用が現在では6億円になった。端末のある世帯すべてにアンケートを実施し、情報機器の実態も把握して今回の措置となった。テ

レビの難視聴区域では影響はない。次の公区長会議で説明し、4月からは広報に記事を連載し説明、周知を図る。

意見

誰ひとり取り残されない町を目標に掲げる下川町はあらゆる努力を払って丁寧な普及、啓発に努めるべきである。

財政の見直し

答 持続可能な財政運営を確立するために財政運営基準を設定



質疑に答弁する田村町長

している。それは①毎年度、基礎的財政収支の黒字化、②基金残高を標準財政規模の50%以上確保する、③地方債残高を標準財政規模の200%以下に抑える、とし、令和12年度を目標年度としている。今後も一般廃棄物中間処理施設の建設や役場、消防庁舎更新等の検討、老朽化した水道管の更新も必要であり、政策と財政のバランスが肝要である。

意見

特別会計を合わせた基金残高が、令和5年度末で2億4,645万円となる見込み。平成13年度末以来の20億円超えはひとえに職員の努力の賜物であり、大いに評価される。今後も安全で安心な財政運営を心がけて、山積する課題の解決と、町民サービスの向上に努めていただきたい。





【YouTube】QRコードを読み取ると本会議の映像が見られます。



(動画時間) 240分

5:54 町政執行方針

54:12 教育行政執行方針

1:39:39 議案上程

3月定例会議の審議議案と議員の賛否（令和6年3月6日）①

議案の件名・概要・結果 町長提出議案：□ 議員又は委員会提出議案：△ 賛成：○ 反対：× 欠席：欠		結 果	桜 木 誠	奥 崎 裕 子	小 原 仁 興	中 田 豪 之 助	大 西 功	齊 藤 好 信	(欠 番)	我 孫 子 洋 昌	議 決 日
<input type="checkbox"/>	下川町表彰条例の一部を改正する条例	可 決	○	○	○	○	○	○	-		3月6日 ※議長は議事の進行を行うため賛否の表明はしません。賛否が同数の場合のみ表明します。
<input type="checkbox"/>	下川町名誉町民条例の一部を改正する条例	//	○	○	○	○	○	○	-		
<input type="checkbox"/>	下川町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例	//	○	○	○	○	○	○	-		
<input type="checkbox"/>	下川町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	//	○	○	○	○	○	○	-		
<input type="checkbox"/>	下川町地域産業基盤整備事業受益者分担金徴収条例を廃止する条例	//	○	○	○	○	○	○	-		
<input type="checkbox"/>	下川町農産物加工研究所設置及び管理等に関する条例を廃止する条例	//	○	○	○	○	○	○	-		
<input type="checkbox"/>	下川町鉱業振興開発促進条例を廃止する条例	//	○	○	○	○	○	○	-		
<input type="checkbox"/>	下川町乳幼児等医療費の助成に関する条例及び下川町重度心身障害者及びひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例	//	○	○	○	○	○	○	-		
<input type="checkbox"/>	下川町介護保険条例の一部を改正する条例	//	○	○	○	○	○	○	-		
<input type="checkbox"/>	下川町簡易水道事業給水条例の一部を改正する条例	//	○	○	○	○	○	○	-		
<input type="checkbox"/>	下川町公共下水道の管理等に関する条例の一部を改正する条例	//	○	○	○	○	○	○	-		
<input type="checkbox"/>	令和5年度下川町一般会計補正予算（第10号） 補正額：△1億4,494万円 補正後の額：56億5,638万円 補正内容：事業の確定等によるあけぼの団地線外2路線道路改良舗装工事費の減額 など	//	○	○	○	○	○	○	-		
<input type="checkbox"/>	令和5年度下川町下水道事業特別会計補正予算（第5号） 補正額：△4,611万円 補正後の額：2億7,796万円 補正内容：事業の確定等による浄化センター整備事業工事費の減額 など	//	○	○	○	○	○	○	-		
<input type="checkbox"/>	令和5年度下川町簡易水道事業特別会計補正予算（第5号） 補正額：△2,282万円 補正後の額：15億2,771万円 補正内容：事業の確定等による下川浄水場整備事業工事費の減額 など	//	○	○	○	○	○	○	-		
<input type="checkbox"/>	令和5年度下川町介護保険特別会計補正予算（第6号）（介護保険事業勘定） 補正額：△3,526万円 補正後の額：4億8,575万円 補正内容：執行見込みによる保険給付費の減額 など	//	○	○	○	○	○	○	-		
<input type="checkbox"/>	令和5年度下川町介護保険特別会計補正予算（第6号）（介護サービス事業勘定） 補正額：△1,679万円 補正後の額：3億2,839万円 補正内容：事業の確定等による施設管理費等の減額 など	//	○	○	○	○	○	○	-		
<input type="checkbox"/>	令和5年度下川町国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号） 補正額：△6,695万円 補正後の額：4億2,430万円 補正内容：執行見込み等による保険給付費の減額 など	//	○	○	○	○	○	○	-		
<input type="checkbox"/>	令和5年度下川町後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号） 補正額：△75万円 補正後の額：6,402万円 補正内容：執行見込みによる北海道後期高齢者医療広域連合に対する保険料等負担金の減額 など	//	○	○	○	○	○	○	-		
<input type="checkbox"/>	令和5年度下川町病院事業会計補正予算（第4号） 補正額：病院事業収益 △5,596万円 補正後の額：5億1,990万円 資本的収入 53万円 補正後の額：1,966万円 補正内容：入院・外来患者数の予定量に対する減少等による減額 など	//	○	○	○	○	○	○	-		
<input type="checkbox"/>	環境保全の状況と施策について	報告済	-	-	-	-	-	-	-		



【YouTube】QRコードを読み取ると本会議の映像が見られます。



(動画時間) 88分

2:19 委員長報告(総産)

28:57 委員長報告(予算)

3月定例会議の審議議案と議員の賛否(3月15日)②

議案の件名・概要・結果 町長提出議案：□ 議員又は委員会提出議案：△ 賛成：○ 反対：× 欠席：欠		結果	桜木誠	奥崎裕子	小原仁興	中田豪之助	大西功	斉藤好信	(欠番)	我孫子洋昌	議決日
□	下川町簡易水道事業基金条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	3月15日 ※議長は議事の進行を行うため賛否の表明はしません。賛否が同数の場合のみ表明します。
□	下川町資金積立基金条例の一部を改正する条例	//	○	○	○	○	○	○	○	○	
□	下川町民間賃貸住宅建設促進条例	//	○	○	○	○	○	○	○	○	
□	下川町林業振興基本条例の一部を改正する条例	//	○	○	○	○	○	○	○	○	
□	下川町快適住環境促進条例の一部を改正する条例	//	○	○	○	○	○	○	○	○	
□	第6期下川町総合計画基本構想及び中期計画について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	
□	令和6年度下川町一般会計予算 予算額：56億1,400万円	//	○	○	○	○	○	○	○	○	
□	令和6年度下川町介護保険特別会計予算 予算額：4億5,987万円(介護保険事業勘定) 予算額：3億3,738万円(介護サービス事業勘定)	//	○	○	○	○	○	○	○	○	
□	令和6年度下川町国民健康保険事業特別会計予算 予算額：4億9,095万円	//	○	○	○	○	○	○	○	○	
□	令和6年度下川町後期高齢者医療特別会計予算 予算額：7,164万円	//	○	○	○	○	○	○	○	○	
□	令和6年度下川町下水道事業会計予算 予算額：収益的収入 2億2,688万2千円 収益的支出 2億1,951万9千円 資本的収入 2億2,881万4千円 資本的支出 3億622万7千円	//	○	○	○	○	○	○	○	○	
□	令和6年度下川町簡易水道事業会計予算 予算額：収益的収入 1億6,264万6千円 収益的支出 1億8,801万9千円 資本的収入 2億3,299万7千円 資本的支出 2億8,845万4千円	//	○	○	○	○	○	○	○	○	
□	令和6年度下川町病院事業会計予算 予算額：収益的収入 5億3,318万5千円 収益的支出 5億8,192万7千円 資本的収入 1,885万9千円 資本的支出 2,273万5千円	//	○	○	○	○	○	○	○	○	
△	下川町議会脱炭素推進調査特別委員会結果報告	報告済	-	-	-	-	-	-	-	-	



原案可決とは？

議会の定例会議や臨時会議に町(行政)から提案された新年度及び補正予算、条例改正案などについて、提案された原案どおりに可決されることを言います。逆に議会の賛成が得られなかった場合のことを「否決」と言います。

町民と対話する機会の創出についての考えは



(動画時間)
44分



さくらぎ まこと
桜木 誠 議員

町長：町民との対話は必要不可欠、より話しやすい場や機会を設けていきたい

その他の質問事項

▶令和6年度町政執行方針の
福祉・医療・住民サービスの向上について

町長 持続可能な医療・介護・福祉の提供体制を維持するため、関係者が一堂に会した各福祉施設間の連携を強化するよう進めます。

町長 町政執行方針の中では、福祉・医療のサービスの向上などの課題を解決するためには、相互の連携が必要と示されていますが、どのような連携・体制を考えていますか。

町長 これまで各種総会などに出席した際、要望などがあつたときには直接対話に心がけてきました。町民との対話は、必要不可欠であると考えています。意見が出やすい雰囲気づくりに考慮しながらテーマを絞るものやあまり絞らないものなど、工夫しながら対話の機会を設け、政策に反映させていきたいと考えています。

質問 町長の公約には、町民・多様な主体による会議の創設など、町民との対話の創出があります。気軽に意見が言える町長・行政になることで住民サービスの向上につながると思いますが、これまで行っていた「町民懇談会」を含め、公約の実現に向けてどのようなものを考えていますか。



おかざき ゆうこ
奥崎 裕子 議員

子育て支援全般に関する話し合いの場の創設は



(動画時間)
14分

町長：ともに知恵を出し合うような話し合いの場を設けることが今後のまちづくりに必要

町長 私は担当と話せる機会を設けていきたいと思っています。今後は工夫しながら、いただいた意見をよい形で地域に反映できる話し合いの場にしていきたいと思っています。

再質問 様々な立場の人の声をすり合わせ、互いのベストな着地点を見つげるためにも、多くの声を集めることが必要だと考えますが、今後どのように開催していきますか。子育てグループの集まりなどに「来てほしい」という声があれば、町長などに参加してもらえますか。

町長 具体的な進展はありませんが、話し合いの場については、昨年12月に企画したものの延期となり、2月に改めて開催しましたが、参加者はごく少数でした。

再質問 話し合いの場は、「パパママトーク」として行われたという内容ですが、どのような内容が話し合われたのですか。

保健福祉課長 幅広く意見・要望を聞かせていただきました。



なかた ごうのすけ
中田 豪之助 議員

災害時、避難所にペット同伴は可能か



(動画時間)
63分

町長：ペットとの避難を可能とする方向で 下川町地域防災計画を修正する予定

その他の質問事項

- ▶農業の生産費について▶人材マネジメントについて
- ▶指定管理者の指定手続きについて

質問 ペットの抜け毛やダストなどによるアレルギーに対して対策を考えていますか。

総務企画課長 飼い主とペットが簡易的なテントの中で過ごすことも想定して進めていきます。

再質問 自宅が被災したのに定員オーバーで避難所に入れないということがありますか。

町長 町内の避難所収容可能人数は、4,100名を超えるもので避難所に入れないということはありません。

再質問 最近、宗谷のサロベツ断層帯というものも明らかになりました。下川町も地震の危険がないわけではありません。大雪で道路の封鎖ということもあります。そのような時に食糧、生活物資の備えはありますか。

町長 サロベツ断層帯による地震や気候変動によって大雪となり、何日も通行止めになるということも想定して、防災計画を含め見直しを進めながら対応していきたいと思っています。

中間支援組織の最初の課題は



(動画時間)
60分

町長：雇用確保と空き家の流動化に 努めていきたい

その他の質問事項

- ▶令和6年度町政執行方針(含む教育行政執行方針)について(「こども家庭センター」他)



おばら よしおき
小原 仁興 議員

質問 中間支援組織設立で最初に行う課題解決はなんですか。

町長 地域産業の雇用確保と空き家の流動化に努めます。

再質問 どのような形が町長の思い描く形なのですか。

町長 人口減少による雇用及び商店や飲食店の生活基盤の縮小、また、教育環境の縮小と高齢者世帯の生活支援の増加、自治機能の低下などが想定されます。このような課題を民間企業等との連携強調のもと、移住者の受け入れによって地域課題を解決する取り組みの成果が結果的に評価されるものと考えています。

質問 上下水道使用料金改定のスケジュールは、どのように考えていますか。

町長 令和6年度は、簡易水道事業の全体計画の策定を進め、令和7年度には計画をもとに料金改定の検討をし、令和8年度には上下水道事業運営検討委員会を設置するとともに、上下水道利用者から意見聴取を行って、令和9年度以降に料金改定を実施する予定です。

町外の高校へ通学する高校生の通学費助成の考えは



(動画時間) 49分



さいとう よしのぶ 齊藤 好信 議員

町長：実施に向けた研究・検討を行う

その他の質問事項

- ▶ 带状疱疹ワクチン接種の助成について
- ▶ 令和6年度町政執行方針の公共施設の統廃合について

質問

町外へ通学する高校生を持つ子育て世代家庭の通学費に係る経済的負担は非常に大きく、中でも所得の低い世帯の生活を圧迫している現状であります。町民の福祉向上という平等性の観点からも、通学費の助成を行うべきと思いますが、町長の考えを示してください。

町長

町外に通学する高校生を持つ家庭の経済的負担は大きく、一定程度の支援は必要と考えております。その支援の方法や内容については精査が必要であり、今後、実施に向けた研究・検討を行います。

再質問

下川・名寄間の1か月のバス定期代は、1万6,920円で夏休みと冬休みを除いた10か月分で約17万円が必要となります。家庭の経済的事情によって子供の将来が阻まれてはならないと思いますが、町長は、どう考えますか。

町長

以前から多くの方から要望を頂いており、教育委員会には既に調査・研究を進めるよう指示をしています。是非実現していきたいと考えています。

下川町議会脱炭素推進調査特別委員会調査結果報告

委員会審査：6月21日、12月6日、2月9日・27日
委員長：桜木 誠 議員
副委員長：大西 功 議員



(動画時間) 88分 1:16:01 委員長報告

下川町議会は、町が策定を進めてきた下川町地球温暖化対策実行計画(区域施策編)における二酸化炭素などの温室効果ガス削減目標や具体的な取り組みなどについて調査を行ってきました。この計画は、町民や事業者、行政が地球温暖化対策を推進するうえで指針となる計画期間を2023年度から2030年度までの8年間とする計画です。計画の内容は、温室効果ガス削減の中期目標を2019年度と比較して2030年度までに48%の削減、長期目標として2050年度までに排出量が実質



田村町長から我孫子議長へ令和5年定例会における、議会活動のCO₂排出量を全量オフセット(5トン)した証明書が交付されました

マイナスとなるカーボンネガティブを目標とするものでした。また、計画には、目標の達成に向けた具体的な取り組みや気候変動の影響に対する適応策も盛り込まれており、地域が一丸となって取り組むためには、地域での十分な理解と、今後の取り組みに対する分かりやすい説明などが必要です。

なお、令和4年下川町議会定例会の会期中から進めてきた、議会活動の際に発生する二酸化炭素の排出実質ゼロを目指したゼロカーボン議会の活動は、この度策定された下川町地球温暖化対策実行計画の地域が一丸となる取り組みに移行します。

1月臨時会議、2月臨時会議で提案された案件はすべて原案通り可決しました。そのうちの一部を掲載します。

1月臨時会議
1月25日



(動画時間) 38分

◆和解及び損害賠償の額の決定について

昨年6月の臨時会議で行政報告のあった、あけぼの園での介護事故について、和解及び損害賠償の額を決定するもの。事故による費用として、治療費、諸雑費、入院慰謝料474,270円を支払うものです。

◆令和5年度下川町一般会計補正予算(第9号)

国のデフレ完全脱却のための総合経済対策として重点支援地方交付金が追加となり、住民税均等割のみ課税世帯は1世帯当たり10万円
・低所得者の子育て世帯は18歳以下の子ども1人当たり5万円を支給するものです。

2月臨時会議
2月27日



(動画時間) 15分

◆下川町証明事務等の手数料徴収条例の一部を改正する条例

戸籍法の改正に伴い、本籍地以外の市町村でも戸籍証明書などを取得できるようになります(窓口交付のみ)。オンライン上で行う行政手続き(パスポート申請など)の際に、戸籍(または除籍)電子証明書提供用識別符号を取得することで、戸籍証明書の添付が不要となります(識別符号とはパスワードのこと)。婚姻届や転居届等、戸籍の届け出の際に添付していた戸籍謄本が原則不要となります。



2月臨時会議の様子

1月臨時会議の審議議案と議員の賛否(令和6年1月25日)

議案の件名・概要・結果	結果	桜木誠	奥崎裕子	小原仁興	中田豪之助	大西功	斉藤好信	(欠番)	我孫子洋昌	議決日
町長提出議案：□ 議員又は委員会提出議案：△ 賛成：○ 反対：× 欠席：欠 □ 議会の議決に付すべき工事請負契約について (下川浄化センター自家発電設備等改修工事 契約金額：9,405万円)	可決	○	○	○	○	○	○	-		1月25日
□ 和解及び損害賠償の額の決定について	//	○	○	○	○	○	○	-		
□ 令和5年度下川町介護保険特別会計補正予算(第5号)(介護サービス事業勘定) 補正額：48万円 補正後の額：3億4,518万円 補正内容：施設事故賠償金に係る経費	//	○	○	○	○	○	○	-		
□ 令和5年度教育委員会の事務に関する点検・評価報告について	報告済	-	-	-	-	-	-	-	※1	
□ 専決処分(第5号)の報告について (元町団地公営住宅D棟建設工事の請負契約金額の変更)	//	-	-	-	-	-	-	-		
□ 下川町土壌改良施設の指定管理者の指定について (指定管理者：下川運輸株式会社 期間：令和6年4月1日~令和9年3月31日)	可決	○	○	○	○	○	○	-		
□ 令和5年度下川町一般会計補正予算(第9号) 補正額：2,189万円 補正後の額：58億132万円 補正内容：住民税均等割のみ課税世帯物価高騰臨時給付金事業に係る経費 など	//	○	○	○	○	○	○	-		

2月臨時会議の審議議案と議員の賛否(令和6年2月27日)

議案の件名・概要・結果	結果	桜木誠	奥崎裕子	小原仁興	中田豪之助	大西功	斉藤好信	(欠番)	我孫子洋昌	議決日
町長提出議案：□ 議員又は委員会提出議案：△ 賛成：○ 反対：× 欠席：欠 □ 下川町証明事務等の手数料徴収条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	-	※1	※2

(※1) 議長は議事の進行を行うため、賛否の表明はしません。賛否が同数の場合のみ表明します。(※2) 2月27日

文書質問

議員は、通年議会を活用し、休会中(定例会議を開催しない月)でも町政に関して、町長などに文書による質問ができます。

今号では令和6年2月に提出のあった質問事項を掲載しています。

質問の全文と回答は、町のホームページへアクセスするか、次のQRコードを読み取ると見ることができます。



あびこ ひろまさ
我孫子 洋昌 議員

【質問事項】 行政改革大綱を推進する際の町民との意識共有について (質問要旨)

健全で持続可能な財政基盤の確立を目的として、公共施設の開館日の減少、開館時間の短縮等の方針が掲載されている。事業実施・施設整備前の計画について客観的な総括・評価等を町民に示し、改革の必要性を理解してもらうべきではないか。

(回答要旨)

行政改革大綱に基づく計画や取り組みは、下川町総合計画に位置付けていることから、引き続き行政評価において、役場内部の評価と下川町総合計画審議会における外部評価を実施し、改革の必要性の理解と取り組みを推進してまいります。

下川中学校3年生、下川小学校6年生が議場に来て発表・提言を行いました



発表する下川中学校生徒

議員席につき説明を聞く生徒

令和5年12月21日、下川中学校3年生が総合的な学習の時間で学んだことを町づくり提言として議場で発表しました。また令和6年2月26日には下川小学校の6年生が、「下川を住みやすくし隊」の発表を行いました。発表・提言に対して、町長、教育長、議長が講評を行いました。大人でも緊張する場面でも、発表する児童・生徒の姿はとても堂々として立派でした。関係した方々も一緒に発表を聞き、大変貴重な時間となりました。



講評する田村町長

発表を待つ、下川小学校児童

議員とフリートークを開催しました

令和6年2月22日、3回目となる議員とフリートークをコモレビで開催しました。今回も午前と午後の2時間ずつ行いました。

時間内は出入り自由で、気軽に話せるようにテーマを設けず、少人数でテーブルを囲む形をとっています。

多忙な中、足を運んでくださった皆様、どうもありがとうございました。写真はその時の様子です。話題に上がったものの一部を紹介します。

- 下川からなくなると困る事業体については積極的に事業継承を進めるべき
- 酪農経営が厳しい
- 公区の見直しは必要なのか、情報発信の在り方を見直しては
- 町の情報発信がスマホに移行するならばスマホ教室をしてほしい
- 公共施設を残す・残さないの優先順位やその理由をつけて情報提供してほしい。利用者には不満しか残らない
- 公共サービスを削減することで町の魅力が減り、住民が町外へ流出するのではないかい
- 申請書類の書き方見本や手続き一覧がほしい
- 困りごとなどの話を相談できる場所がない
- 下川商業高校の「商業科」以外の在り方も検討するべきでは
- 老朽化が進むスキー場のリフト更新は検討しているのか



この他にも
たくさん話題がありました。
議員とフリートークは
今後も定期的に
開催する予定です。
皆様のお越しを
お待ちしております！

議会活動日誌 12月15日から3月15日までの議会の活動記録です (12月定例会議閉会後から3月定例会議閉会まで)

- 12月21日 下川中学校3年生 まちづくり提言 議場発表会
- 12月22日 第18回議会運営委員会
ハラスメント防止研修
- 1月18日 第4回議会だより編集委員会
- 1月25日 第19回議会運営委員会
1月臨時会議
第8回全員協議会
第8回議会広聴広報特別委員会
- 2月 9日 第3回下川町議会脱炭素推進調査特別委員会
第20回議会運営委員会
法務研修
- 2月22日 議員とフリートーク(コモレビ)
- 2月26日 下川小学校6年生 総合的な学習の時間発表会
- 2月27日 第21回議会運営委員会
2月臨時会議
第4回下川町議会脱炭素推進調査特別委員会
- 2月29日 第9回全員協議会
- 3月 1日 第22回議会運営委員会
- 3月 6日 3月定例会議(初日)
- 3月 7日 第23回議会運営委員会
- 3月 8日 予算審査特別委員会(初日)
- 3月11日 予算審査特別委員会(2日目)
- 3月12日 予算審査特別委員会(3日目)
- 3月13日 予算審査特別委員会(最終日)
- 3月14日 一般質問
第24回議会運営委員会
- 3月15日 3月定例会議(最終日)



ハラスメント防止研修では、何がハラスメントにあたるのかを学びました



3月定例会議最終日に予算審査特別委員会報告を行いました

今後の定例会議予定/令和6年下川町議会定例会(会期:令和6年5月1日~令和7年4月30日)
6月定例会議 6月18日(火)初日、19日(水)一般質問、21日(金)最終日
※会議の進行状況等により、日程が変更となる場合があります。

編集後記

昨年5月から新人議員としてやってきましたが、1年たつてようやく流れが分かってきたかな、というところです。

今号に記事を載せていますが、3月は定例会議と新年度予算の審査がまとまってワットとやってきます。普段の定例会議の倍くらい(それ以上?)の内容を委員会で審議しました。議員も毎日頭をフル回転、3月って大変…。

新年度事業や条例などが、下川に暮らす私たちにどう関わっていくのか、議会でも議論を深めて可決したものですので、ぜひ記事を読んでもらえればと思います。とはいえ、手に取ってもらえなければ意味がないので、まずは「見てみようかな」と思われるような誌面作りが目標です。それがなかなか難しいんですけどね。

(奥崎)



議会広聴広報特別委員会
(議会だより編集委員会)

委員長	奥崎裕子
副委員長	中田豪之助
委員	桜木まこと